

## ドクターからの健康アドバイス

# 梅毒ってどんな病気？



愛染橋病院

産婦人科

中村 涼

今回は、梅毒についてお話させて頂きま  
す。

梅毒と聞くと、『性病の代表格』、『昔  
の病気』といったイメージをお持ちかと思  
います。国立感染症研究所の統計によると、  
1940年代にペニシリンが開発されて以  
降、梅毒患者数は大きく減少しておりまし  
た。まさに『昔の病気』でありましたが、  
2010年頃より徐々に患者数は増加に  
転じ、2015年には、4559人と5年  
前の約5倍に増加しています。この傾向は、  
日本だけではなく、世界でも同様であり、  
WHO（世界保健機関）は、毎年全世界で  
推定1200万人が新規に感染していると  
報告しています。

### 感染のしくみと症状

増加している原因は諸説あり、はっきり  
とは特定できていません。感染経路は、性

行為による感染が最も多く、その他、注射  
を介した血液感染、非常に頻度が少ないで  
すが輸血による感染があります。感染後は  
非常にゆっくと症状が現れ、皮膚症状を  
中心とした症状が、第1期から第4期まで  
進行していきます。治療法は、ペニシリン系  
抗生物質を数週間投与する事で治療します。

### 予防法と対処法

予防法としては、性交渉時のコンドーム  
着用が薦められています。

梅毒は、皮膚症状が出た時点で診断され  
る事が多く、ほとんどが第2期までに診断  
されますが、治療が遅れると致命的な状況  
になる事もあるため、早期発見・早期治療  
が極めて重要です。そのため、症状がある  
場合には早期受診を、梅毒と診断された場  
合には早期治療及びパートナーにも治療を  
してもらう事が重要です。

医師の中にも、梅毒の皮疹を見た事がな  
い方も多いと思われれますが（実際私も数年  
前に初めて見ました）変わった皮疹を認め  
た場合、梅毒も鑑別診断として挙げて頂け  
れば幸いです。

